

■ドイツ：石炭火力、ガス火力の閉鎖による安定供給の危機を懸念

2013 年 7 月 16 日付の現地新聞は、石炭火力およびガス火力の閉鎖リスクが高まっており、安定供給に支障が出る可能性が懸念されると伝えている。同紙によると、再エネブームにより火力発電所の収益性が悪化し、事業者が火力発電所の閉鎖を望んでいるとされ、約 9,000 万 kW ある火力・原子力設備容量のうち、最大で 20%が今後数年以内に閉鎖される可能性がある。しかし、ドイツにおいては、原子力 8 基が閉鎖された現在、電力供給の 44.8%（2012 年）が石炭火力であり、火力が重要な役割を担っているため、火力発電所の閉鎖は安定供給に重大な支障を来す恐れがあると述べている。同紙は、連邦系統規制庁の報道官が 2013 年 7 月 15 日、ドイツ南部におけるいかなる発電所の閉鎖も受け入れられない、とコメントしたことを引用し、この問題に対する規制当局の介入の可能性を示唆している。